

## 平成 30 年 7 月豪雨災害に係る災害復旧事業の進捗状況について

〔 令和 2 年 5 月 2 8 日 〕  
 林 業 課  
 ため池・農地防災担当

## 1 要旨

農地・農業用施設及び林道施設災害復旧事業の令和 2 年 4 月末時点での進捗状況について報告する。(令和 2 年度末 発注計画：農地・農業用施設，林道施設の全箇所)

## 2 進捗状況

(単位：箇所)

施設名	実施箇所※	発注済			工事完了		
		3月末まで ①	4月 ②	4月末まで ①+②	3月末まで ①	4月 ②	4月末まで ①+②
農地・農業用施設	4,464 〈4,924〉	2,053 (46.0%)	70	2,123 (47.6%)	978 (21.9%)	114	1,092 (24.5%)
林道施設	314 〈315〉	193 (61.5%)	0	193 (61.5%)	127 (40.4%)	5	132 (42.0%)

※ 〈 〉は査定箇所数：工事費 40 万円以上で，国庫補助事業として採択されたもの。

なお，農地・農業用施設で 460 箇所，林道施設で 1 箇所が自力復旧などの理由により申請を取り下げた(廃工)ため，進捗状況は査定箇所から廃工を除いた実施箇所管理する。(令和 2 年 4 月末現在)

## 3 現状

国の計画変更審査がほぼ完了したことから，今後の工事発注の本格化に向け，集中的に作業を進めている。

また，県全体で 2,503 箇所の発注に対して，380 箇所(約 15%)の不調・不落が発生したが，再入札や随意契約により，順次契約を進めている。

## 4 工事の加速化に向けた県の取組

農業者との調整が円滑に行いやすい，地域に精通した工事業者の確保に向けた随意契約等の積極的な活用や，地域外の業者の参加を促すための必要な経費(旅費等)の計上に取り組むよう強気に働きかける。

また，土木建築局と連携し，県全体の工事発注状況を把握しながら，復旧の進捗が遅れている地域において，災害復旧工事が優先されるよう発注の調整を行うとともに，県や市町独自の不調・不落対策や，効率的な発注方法(PM/CM，復興JV)の具体的事例の情報提供を行う。

併せて，発注を加速化させるため，引き続き，市町に対し組織体制の強化を要請していく。

## 5 今後の見通し

令和 2 年度中にすべての箇所の工事着手を目指しているが，一部の市では，工事の完成が令和 3 年度までかかる見通しを示されているため，引き続き，市町と連携した実情に応じた対策を講じ，早期復旧に努める。

なお，新型コロナウイルスの感染による工事の進捗への影響は，現時点では確認されていない。